

令和5年4月1日
▼
令和5年9月30日

松本信用金庫

令和5年度(第103期)上半期ディスクロージャー

SHINKIN REPORT 2023

地域とともに、
人々と明日を目指します。

将来ビジョン

[経営理念体系図]

経営理念

「もっと身近な金融機関として
質の高い金融サービスの提供に努め、
お客さまや地域経済の発展に貢献する。」

経営方針

4つの経営方針

行動理念

4つの行動理念

いずれも次の4つの視点で

- ① お客さまの視点
- ② 地域の視点
- ③ 金庫の視点
- ④ 職員の視点

将来ビジョン

For Your Future ~地域の未来のために~ 未来につなぐ100年分の感謝と想い

[4つのFuture]

- 松本エリアの価値向上
- 地域密着型金融への特化
- 業務効率化・金融デジタル化
- 職員の働きがいの醸成

長期経営計画理念

・ 密着度 好感度 信頼度 満足度 No.1!

長期経営計画

(計数目標 貸出・預金残高 利益 自己資本額・比率)
・ 2021年4月~2031年3月

中期計画I~IV

・ I : 2021年4月~2024年3月
・ II : 2024年4月~2027年3月
・ III : 2027年4月~2030年3月
・ IV : 2030年4月~2033年3月

単年度計画

・ 毎年度策定

理念
(目指す姿)

長期
経営計画

中期計画 I
中期計画 II
中期計画 III
中期計画 IV

単年度計画

経営方針

1 お客さまのために

常にお客さまの立場に立って考え、お客さまの喜びを自らの喜びとし、お客さまが本当に必要としているサービスや情報を見極め、提供することで信頼される金融機関を目指します。

2 地域のために

確かな能力と豊かな人間性を持った人材を育成し、新たな価値を創出し、地域の発展・活性化のために貢献していきます。

3 金庫が存続し続けるために (社会的責任、CSR・SDGs・ESG)

健全経営を行い、効率経営に全役職員が参加することで松本信用金庫として生き残り、持続可能な地域社会づくりに努力していきます。

4 働きがいのある職場のために

変革と挑戦を続け、公平・公正な人事管理により活力とやりがいのある職場を目指します。

行動理念

常にお客さまの立場に立って考え、
真にお客さまの役に立つ
サービスの提供に努めよう

確かな能力と豊かな人間性を持ち、
地域の発展・活性化に貢献しよう

健全経営・効率経営を
全役職員が意識し、
より強固な経営基盤を確立しよう

意識改革と挑戦を続け、
働きがいのある職場をつくろう

*行動理念とは、当金庫の経営理念を実現するための行動基準であり、役職員は常にこの行動理念を念頭において思考・行動することが求められます。

当金庫の概要 (令和5年9月30日現在)

- 本店所在地：〒390-0873 長野県松本市丸の内1番1号 Tel: 0263-35-0001
- 設立：大正11年2月
- 預金：4,485億円
- 貸出金：2,047億円
- 出資金：10億円
- 常勤役職員数：301人
- 店舗数：27店舗(うち出張所：1店舗、ブランチ・イン・ブランチ：1店舗)

令和5年度上半期 業績ハイライト

平素は、松本信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当金庫の令和5年度上半期（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）の業績をまとめました「令和5年度（第103期）上半期ディスクロージャー」を作成いたしました。ご高覧のうえ、当金庫の経営につきまして、より一層のご理解をいただければ幸いです。

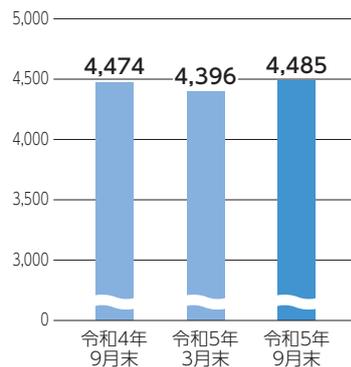
*本資料の記載金額・比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
*記載事項については、監査法人の監査は受けておりません。

預金・貸出金の状況

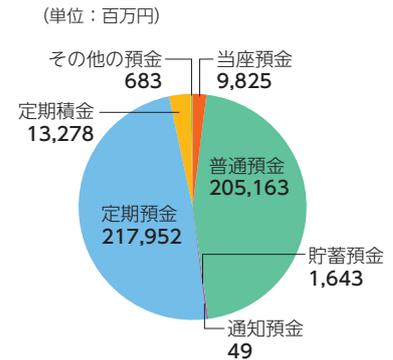
預金

預金は、個人のお客さまによる定期性預金が減少した一方、法人・個人ともに流動性預金が増加した結果、令和5年3月期末比89億円増加の4,485億円（2.04%増加）となりました。

預金残高 (単位：億円)



預金積金科目別内訳



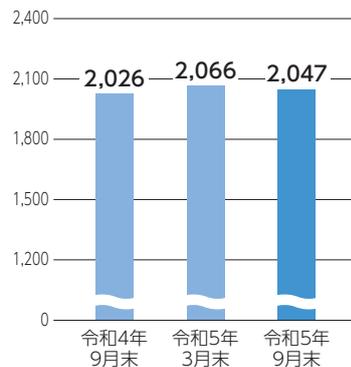
令和5年9月末
預金残高

4,485億円

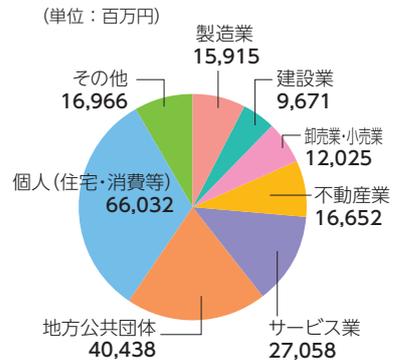
貸出金

貸出金は、住宅ローンを中心とした個人のお客さま向けが増加した一方、一般法人向けが減少した結果、令和5年3月期末比18億円減少の2,047億円（0.91%減少）となりました。

貸出金残高 (単位：億円)



貸出金業種別内訳



令和5年9月末
貸出金残高

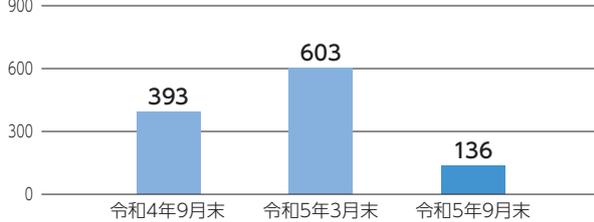
2,047億円

収益の状況

収益は、業務費用が増加した一方で、臨時収益の増加により、業務純益は前年同月比2億56百万円減少し1億36百万円、経常利益は前年同月比92百万円増加し6億18百万円、当期純利益は前年同月比1億3百万円増加し5億25百万円となりました。

業務純益

(単位：百万円)

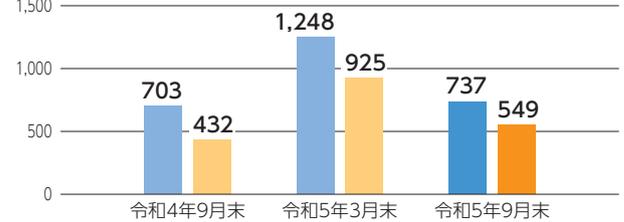


令和5年9月末 業務純益 **136**百万円

* 業務純益…業務粗利益から業務遂行に必要な経費等を控除した利益で、金融機関の基本的な業務に係る利益を示しています。

コア業務純益・コア業務純益(投資信託解約益を除く)

(単位：百万円)



令和5年9月末 コア業務純益 **737**百万円

* コア業務純益…実質業務純益(業務純益+一般貸倒引当金繰入額)から国債等債券損益(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益)を加減した利益で、より実質的な金融機関本来の業務による収益力を示しています。

経常利益

(単位：百万円)

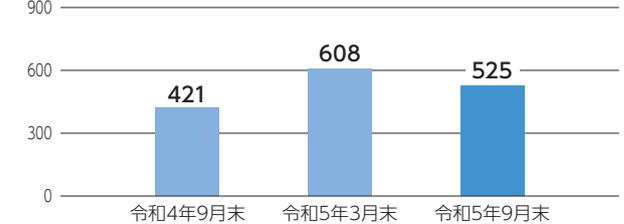


令和5年9月末 経常利益 **618**百万円

* 経常利益…業務純益に、業務外の損益を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示しています。

当期純利益

(単位：百万円)



令和5年9月末 当期純利益 **525**百万円

* 当期純利益…経常利益に、特別損益を加減し、法人税等を控除した利益で、最終利益ともいいます。

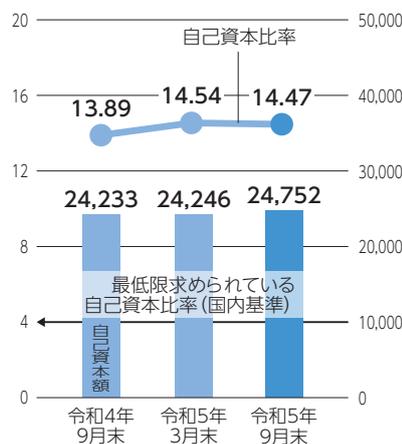
自己資本比率の状況

自己資本比率とは、リスクのある資産(リスク・アセット)に対して自己資本がどれくらいあるかを示す重要な指標です。令和5年9月末の自己資本比率は、令和5年3月期末比0.07ポイント低下し14.47%となりました。国内基準(4%以上)を大きく上回っており、経営の健全性・安全性を十分に保っております。

自己資本比率・自己資本額の推移

(単位：%)

(単位：百万円)



自己資本の構成

(単位：百万円)

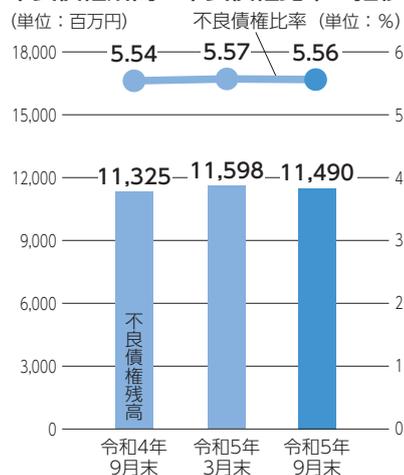
項目	令和5年3月末	令和5年9月末
①コア資本に係る基礎項目	24,469	24,977
②コア資本に係る調整項目	223	224
③自己資本の額 (①-②)	24,246	24,752
④リスク・アセット等の額の合計額	166,749	170,973
自己資本比率 ③/④	14.54 (%)	14.47 (%)

令和5年9月末 自己資本比率 **14.47%**

不良債権の状況

信用金庫法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づき、総与信の状況がどのような状況にあるのかを、当金庫の資産査定基準に基づき算出しております。令和5年9月末の不良債権残高は、令和5年3月期末比1億8百万円減少し114億90百万円となりました。不良債権比率は0.01ポイント改善し5.56%となりました。

不良債権残高・不良債権比率の推移



令和5年9月末
不良債権比率 **5.56%**

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円、%)

区分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額 (c)		貸倒引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
			担保・保証等による回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和5年3月期	1,298	655	642		100.00	100.00
	令和5年9月期	1,299	674	624		100.00	100.00
危険債権	令和5年3月期	9,922	9,093	7,191	1,901	91.64	69.63
	令和5年9月期	9,850	9,043	7,224	1,818	91.80	69.25
要管理債権	令和5年3月期	377	185	138	47	49.23	19.91
	令和5年9月期	340	192	155	36	56.46	19.80
三月以上延滞債権	令和5年3月期	-	-	-	-	-	-
	令和5年9月期	18	20	18	1	110.01	100.00
貸出条件緩和債権	令和5年3月期	377	176	138	37	46.63	15.80
	令和5年9月期	322	169	137	32	52.66	17.46
小計 (A)	令和5年3月期	11,598	10,577	7,985	2,591	91.19	71.74
	令和5年9月期	11,490	10,535	8,055	2,479	91.68	72.18
正常債権 (B)	令和5年3月期	196,556					
	令和5年9月期	194,829					
総与信残高 (A) + (B)	令和5年3月期	208,155					
	令和5年9月期	206,319					

有価証券の状況

有価証券残高は、令和5年3月期末比83億42百万円減少し1,713億13百万円となりました。安全性・収益性に留意し運用しております。

有価証券の状況

(単位：百万円)

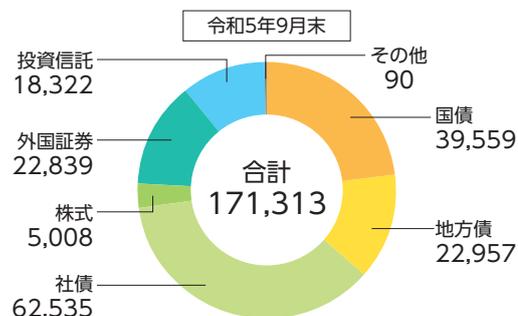
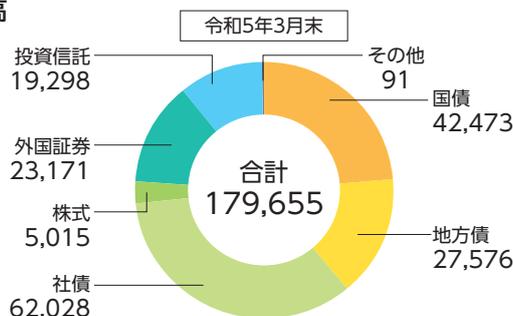
		令和5年3月末			令和5年9月末		
		取得原価	時価	差額	取得原価	時価	差額
その他有価証券	株式	4,349	5,015	665	3,691	5,008	1,316
	債券	135,372	132,078	△ 3,294	128,998	123,756	△ 5,241
	その他	44,541	42,561	△ 1,979	42,823	40,652	△ 2,171
	合計	184,263	179,655	△ 4,608	175,513	169,416	△ 6,096
満期保有目的有価証券	債券	-	-	-	1,297	1,292	△ 4
	その他	-	-	-	600	597	△ 2
	合計	-	-	-	1,897	1,889	△ 7

(注) 1. 「その他」は、外国証券、投資信託及びその他の証券です。

2. 「差額」は、基準日時点の取得原価（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

有価証券種類別残高

(単位：百万円)



令和5年9月末
有価証券残高 **1,713億円**

